

草津市気候非常事態宣言

ゼロカーボンシティをめざそう

昨年12月17日、市と議会は共同で「草津市気候非常事態宣言」を行い、ゼロカーボンシティを表明しました。これは、地球温暖化による気候変動に対する危機意識を市民の皆さんと共有することで、市を挙げて脱炭素社会※の実現に向けた行動目標を示すためのものです。私たち一人一人の、これからの自発的な行動が未来につながります。いま一度、気候変動による危機に対して自分に何ができるのかを考え、行動するとともに、協力し合いながら、ゼロカーボンシティをめざしていきましょう。

詳しくはこちら



※地球温暖化の原因となる、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量を、実質的にゼロに実現する社会

問 くさつエコスタイルプラザ(馬場町、クリーンセンター内)
☎561-6580、FAX561-6583

共同宣言式



昨年11月定例市議会の終了後、議場で、議長と市長が共同で宣言を行いました。共同宣言は、西日本では初めてです。

草津市地球冷やしたい推進フェア

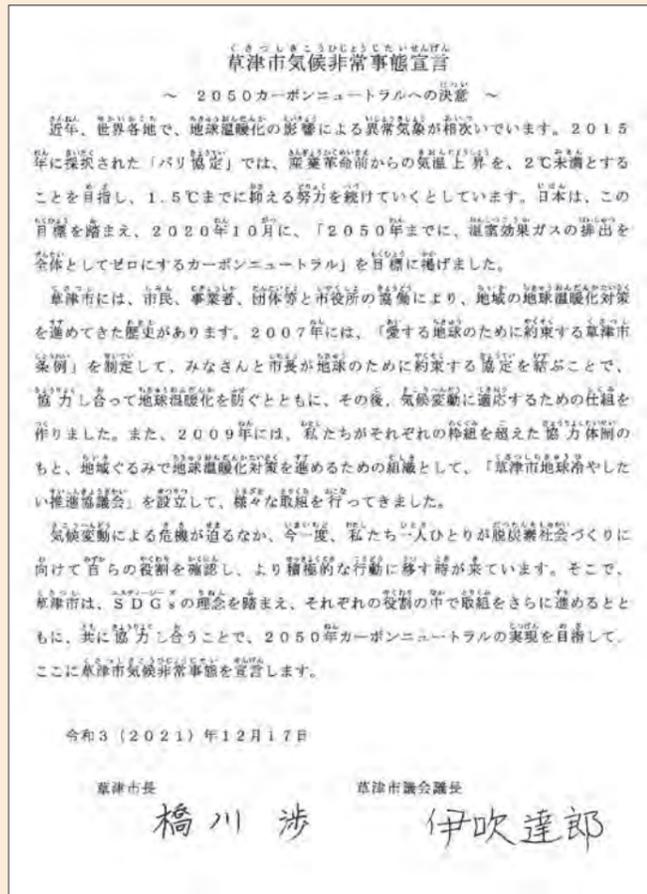
宣言の翌日に草津市地球冷やしたい推進フェアのトークイベントで、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて取り組みを進めていくための話し合いが行われました。



- 市民代表 やまもと えつこ 山本悦子さん
- 事業者代表 ふちがみ まお 洲上幹雄さん(イオンモール草津 ゼネラルマネージャー)
- 団体代表(コーディネーター) なかしかさ てる 中鹿哲さん(滋賀県地球温暖化防止活動推進センター長)
- 市代表 草津市長 橋川渉

ゼロカーボンシティとは

2050年にCO₂(二酸化炭素)を実質ゼロ(カーボンニュートラル)へ、めざすことを公表した地方自治体などを指します。全国では、約500の地方自治体がゼロカーボンシティを表明しており、市は、県内で4例目となります。(環境省ホームページより)



市では、「草津市地球冷やしたい」の愛称で、市民の皆さんに地球温暖化対策市民運動への参加を呼びかけています。

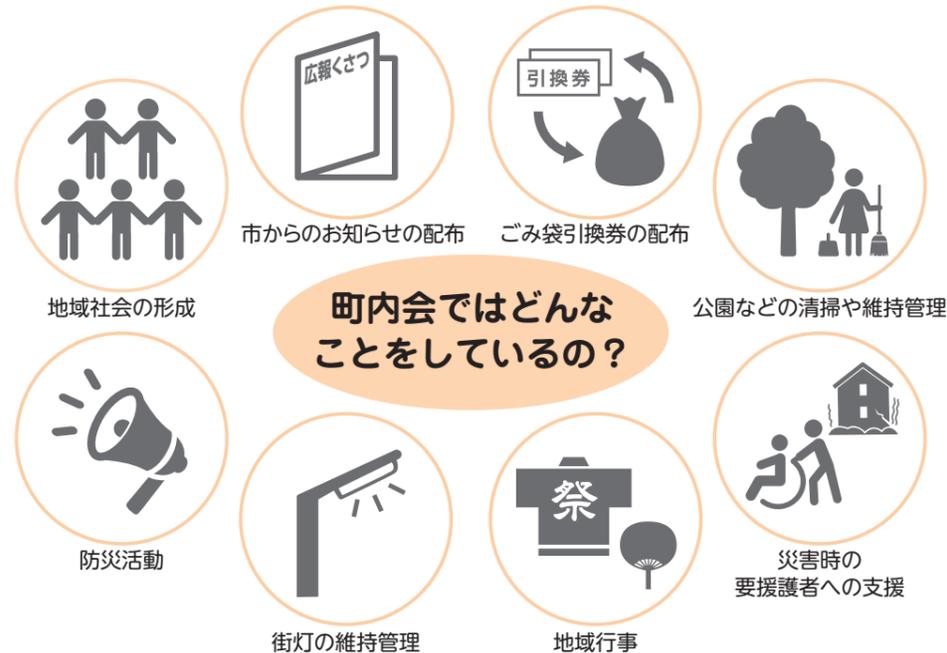
町内会の新たな取り組み

— 地域の課題に合わせて —

市内には220の町内会・自治会があります。そのうちマンションのみで組織されている町内会は22あります。マンション町内会では、戸建てを中心とした町内会とは違った事情や課題を抱えていますが、その中でも地域の関わりを大切に、いろいろな取り組みが行われています。

では、実際にマンション町内会ではどのような活動を行っているのか、「ファミリーハイツ草津町内会」の取り組みを紹介します。

問 まちづくり協働課(2階) ☎561-2324、FAX561-2482



町内会ではどんなことをしているの？

町内会とは？

町内会は隣近所に住む人たちがお互いに助け合い、協力し合って、自分たちの住む地域を、より住みよい地域にしようと自主的に活動している団体です。



ファミリーハイツ草津町内会の取り組み

ファミリーハイツ草津町内会は3棟が立ち並ぶ高層マンションで、約440世帯が住んでいます。住民交流を目的に、ウィンターフェスティバルやクリスマス会など、年間を通して、さまざまな行事を行っています。

昨年は、毎年8月に開催している「サマーフェスティバル」を新型コロナウイルス感染症対策で中止したことにより、「地域振興サマー抽選会」を開催しました。各組ごとに時間を区切り、7人の組長が皆さんの代表として抽選を行いました。町内会独自のお買い物券を発行し、草津駅西口商店街協賛のお店で利用することで、地域振興の一つとして商店街を盛り上げました。



課題とこれから

近年では、子どもが少なくなり、これまで続けてきた行事ができなくなってしまっています。町内会の活動を始めてから20年が経過し、ネット社会や少子高齢化、働き方改革、個人情報保護の壁など、時代により社会が変化しました。このような中で、「やりたい人(やれる人)」が「やりたい内容」で「できるときに参加する」を基本に、住んでいるまちに、ゆるく関わっていく方法を考え、持続していけるような町内会にしていきたいと考えています。

町内会・自治会へ
加入しましょう

地域の皆さんが顔見知りになって、触れ合い、いざという時に互いに助け合える関係づくりが大切です。地域の絆を深めるとともに、住みよい生活を送るため、町内会に加入しましょう。